

2025年12月22日(月) /愛知大学

# 愛知県の環境政策

「環境首都あいち」を目指して

愛知県環境局  
環境政策部環境政策課  
担当課長 磯貝裕文

# はじめに

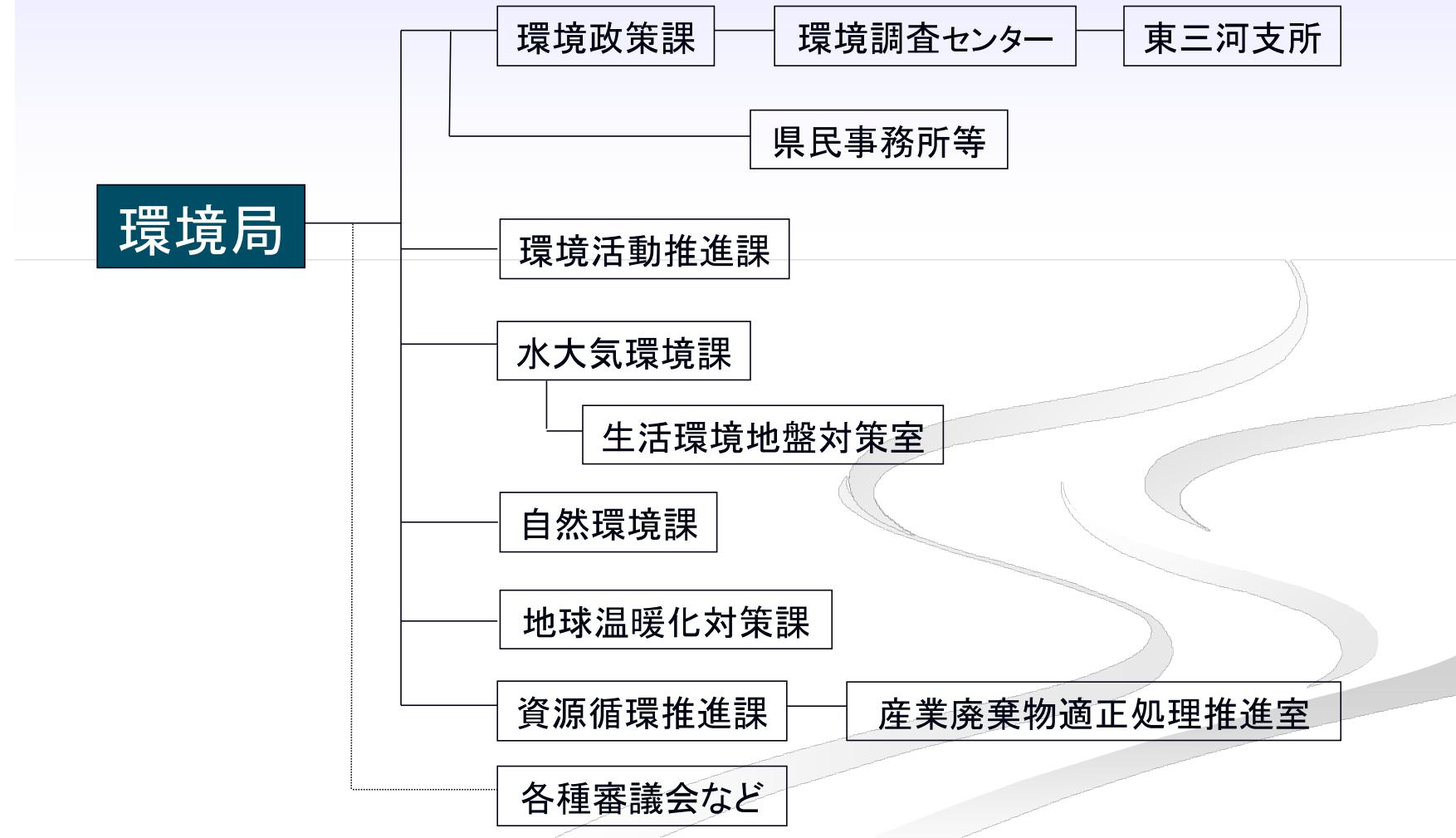
愛知県の製造品出荷額等（2022年）は  
約52兆円で46年連続日本一のモノづくり県

大村知事がよく使うフレーズ

「日本一のモノづくり県であるからこそ、  
環境分野でもトップランナーであるべき」

- ・住宅用太陽光発電 件数・容量**全国第1位** 
- ・PHV、FCV 保有台数 **全国第1位** 
- ・水素ステーション 設置箇所数 **全国第1位**  etc.

# 環境局の組織 (2025年度)



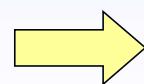
# 1 環境問題の変遷と環境政策

## 2 環境基本計画

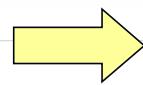
## 3 環境局の主な取組

# 環境問題の変遷

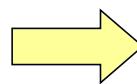
衛生問題



産業公害



都市生活型公害



地球環境問題

現在の認識

(その原因) 国民生活や経済活動に深い関わりを持つこと

(その影響) 空間的にも時間的にも大きな広がりをもつこと

(その汚染) 個々の環境媒体の枠を越え、複数の環境質に  
またがること

# 産業公害の状況

ばい煙を排出する工場群  
名古屋市沿岸部（昭和44年）

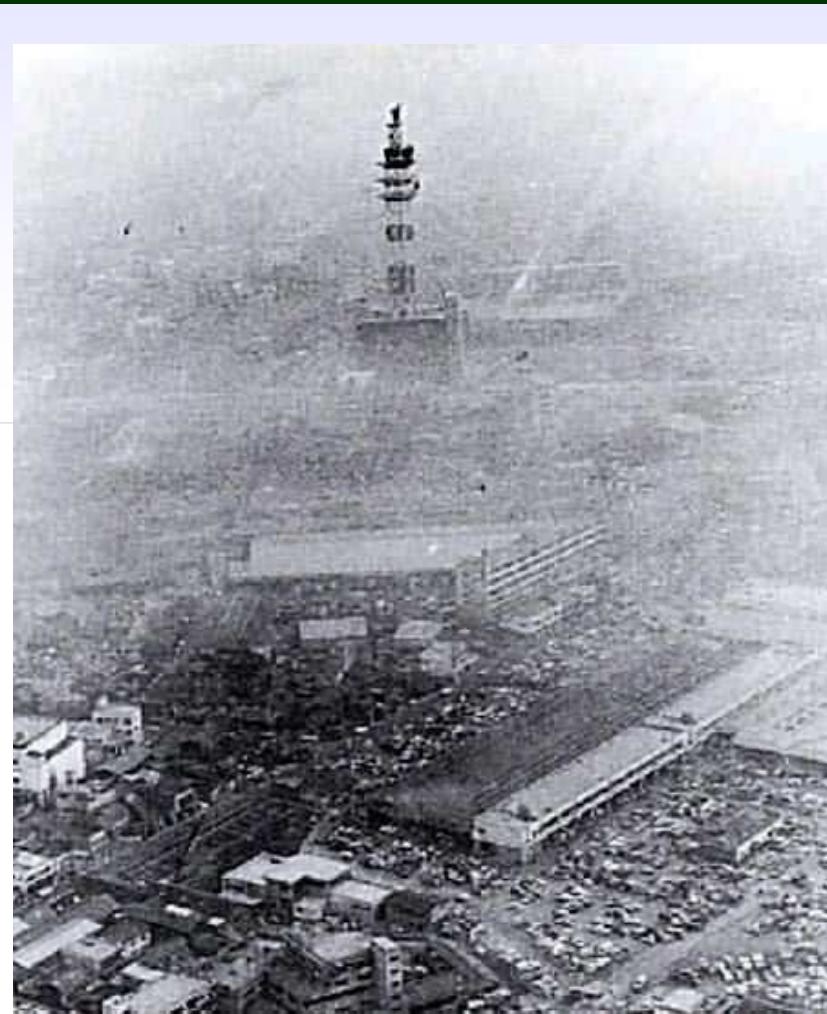


海域に発生した赤潮  
一色沖合（昭和63年）

# 大気汚染の状況



昭和43年1月  
県内で初めて硫黄酸化物によるスモッグ  
注意報が発令。スモッグの影響で日中で  
も街路灯が点灯（名古屋市中区錦通）

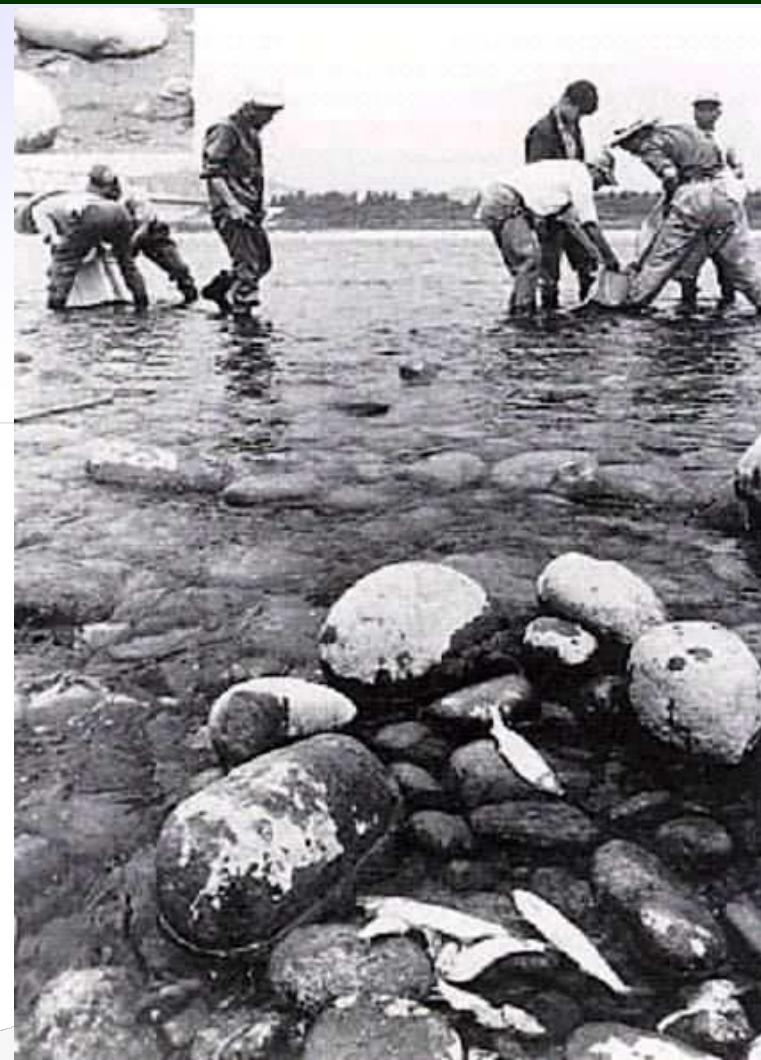


昭和45年8月  
光化学スモッグにおおわれた名古屋市街地

## 水質汚濁の状況

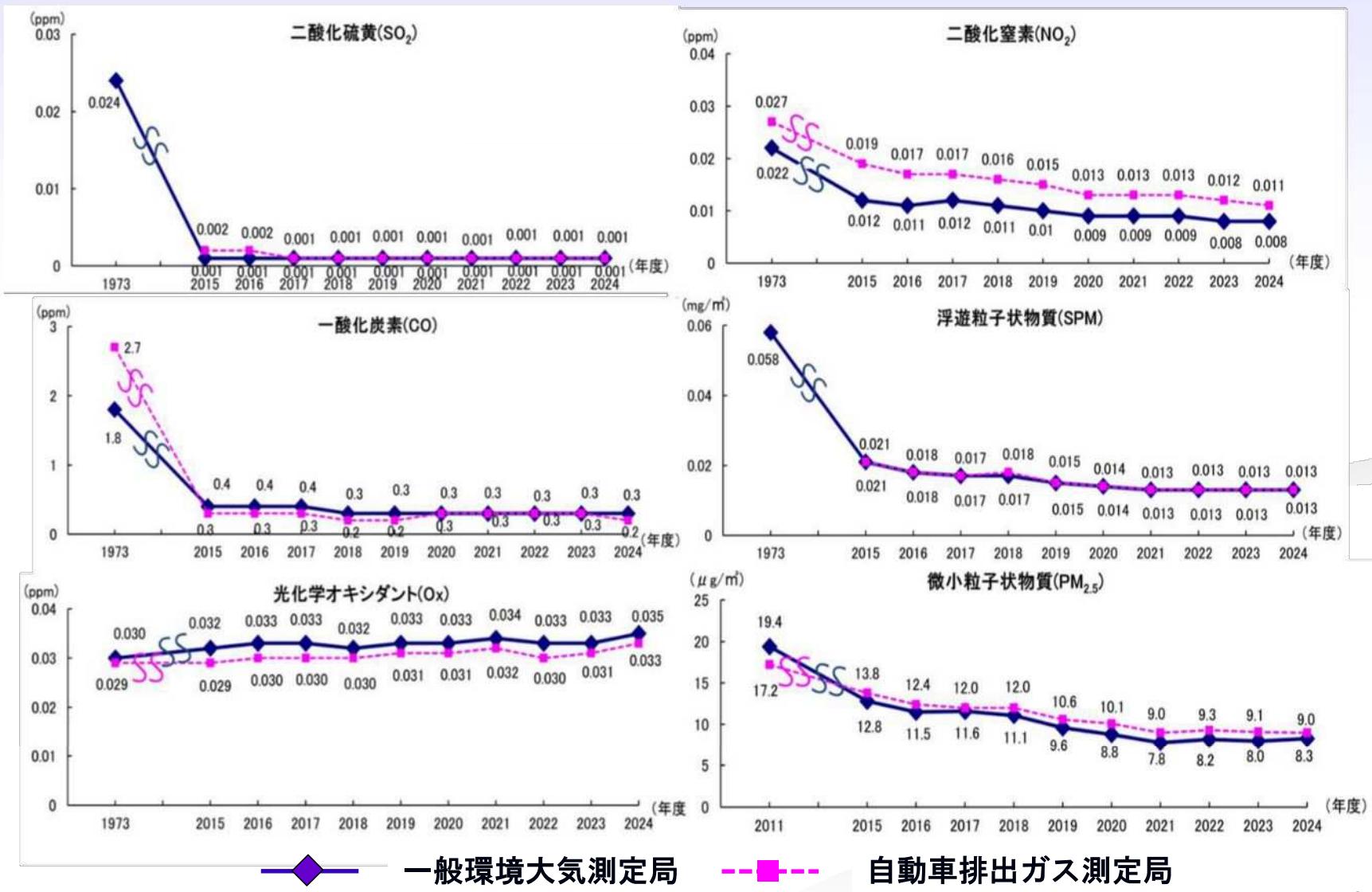


木曽川に流入する工場排水  
(昭和43年9月)



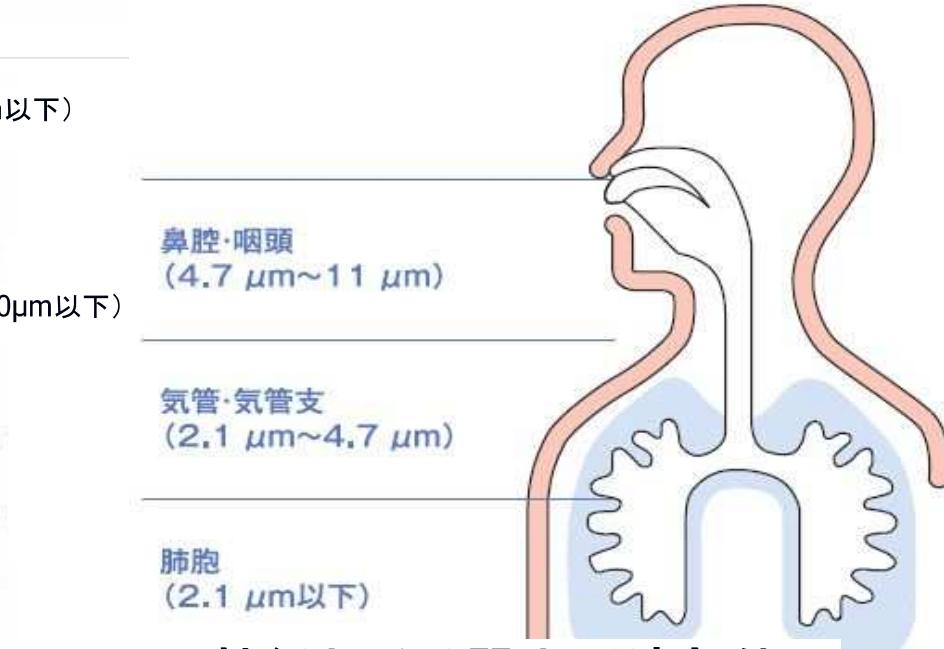
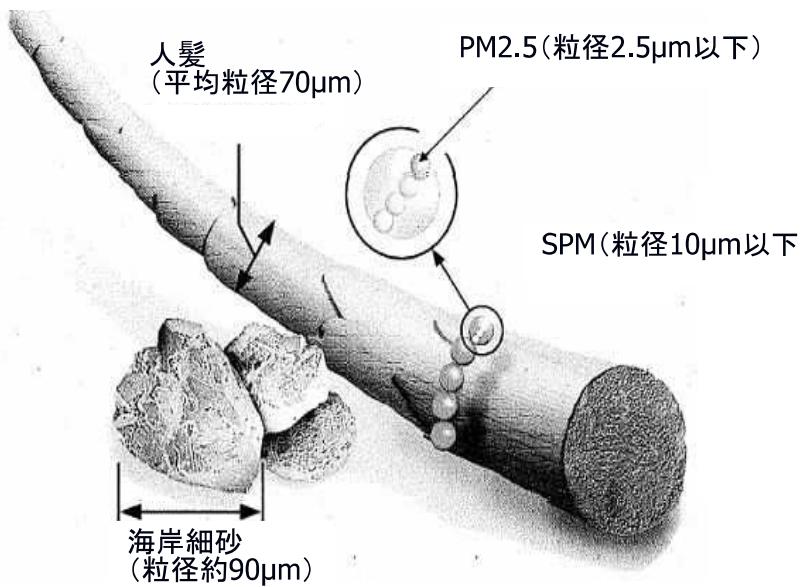
魚のへい死  
(昭和44年6月)

# 大気汚染の状況（愛知県内の年平均値）



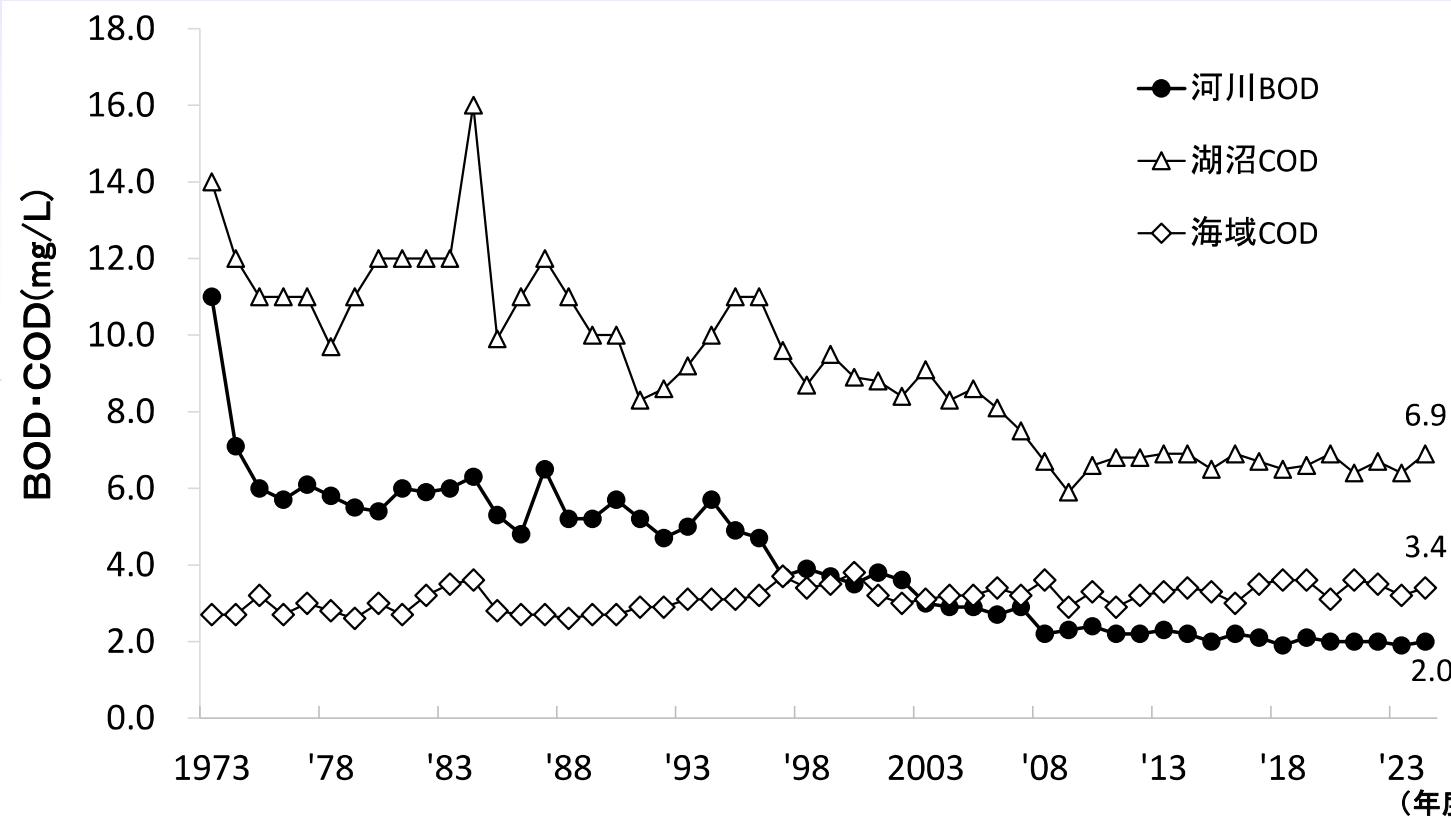
## 微小粒子状物質(PM2.5)

- ・大気中に漂う粒子状物質(PM)の中でも、粒径 $2.5\text{ }\mu\text{m}$ 以下の小さなものの。
- ・粒径が小さいので、肺の奥まで入りやすく、肺がん、呼吸器系への影響に加え、循環器系への影響が懸念されている。



PMの大きさ比較概念図  
(出典:EPA資料)

# 水環境の状況（愛知県内の環境基準の達成率）

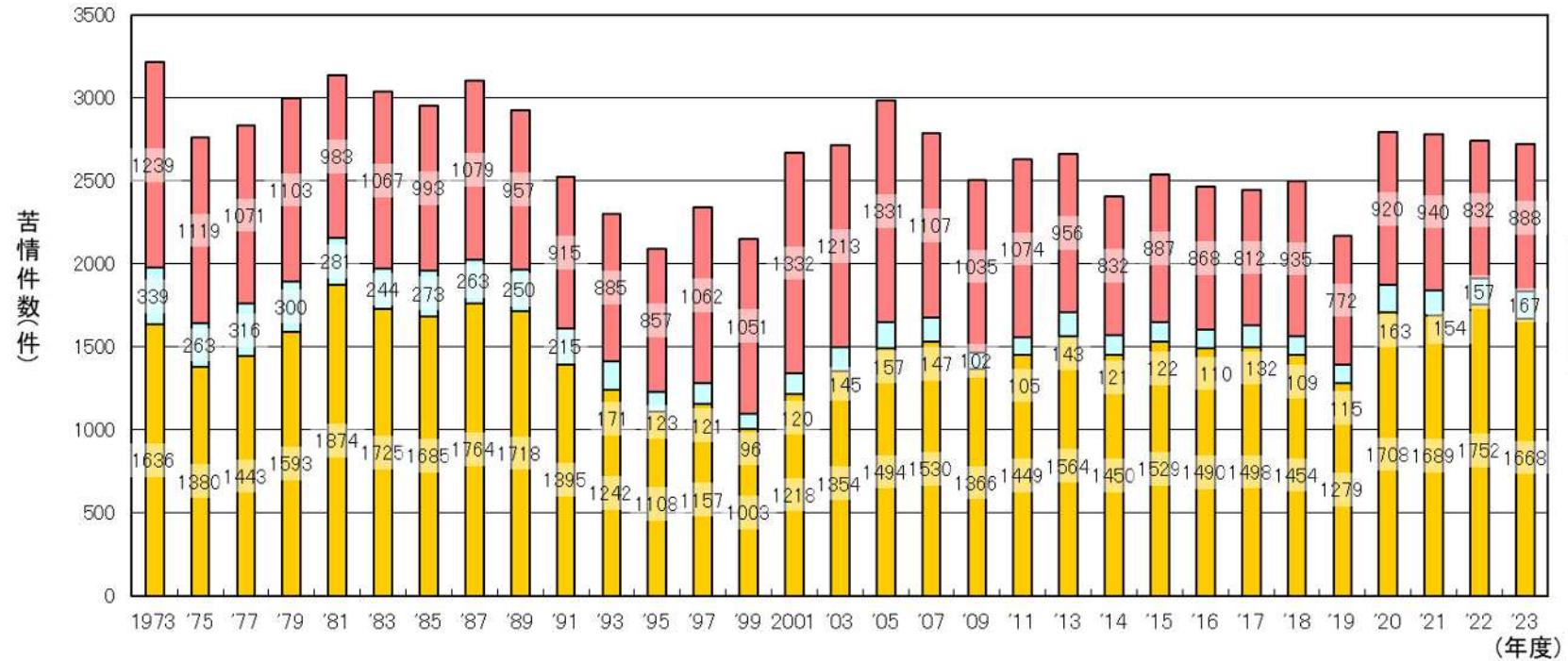


## ＜達成率の長期的な推移＞

- ・河川のBODは改善傾向
- ・湖沼のCODは改善傾向（数値的にはまだ高いレベル）
- ・海域のCODは、概ね横ばい

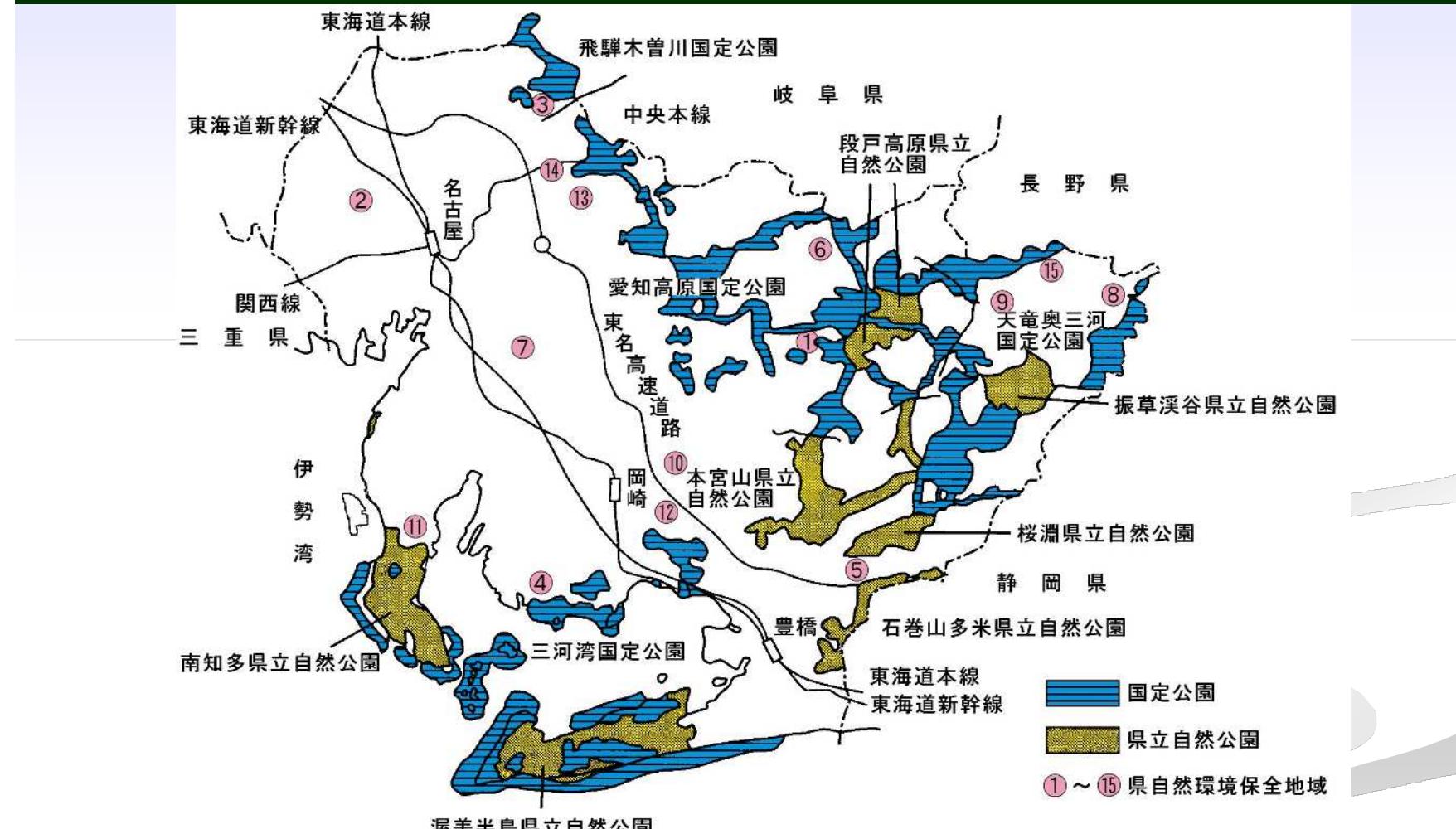
BOD、CODはともに有機物量を表し、汚れの指標となるもの

# 騒音・振動・悪臭（愛知県内の苦情件数）



- 悪臭（野焼き、家庭生活、機械稼働など）
- 振動（工事・建設作業、機械作動、自動車運行など）
- 騒音（工事・建設作業、機械作動、家庭生活など）

# 自然環境（自然公園・自然環境保全地域の指定）



- 優れた自然景観の保護、生物多様性を確保するため、県土面積の約17%を自然公園（法・条例）に指定
- 指定地域では、土地の改変、伐採など土地利用行為に規制がある

# 希少種・外来種・野生鳥獣保護管理

- ◆ 県条例で、コノハズク、アカウミガメなど18種を **指定希少野生動植物** に、さらに、重要な生息生育区域（4か所）を **生息地等保護区** に指定



- ◆ イノシシ、ニホンザル、ニホンジカ、カモシカの4種は、「第二種**特定鳥獣管理計画**」を策定



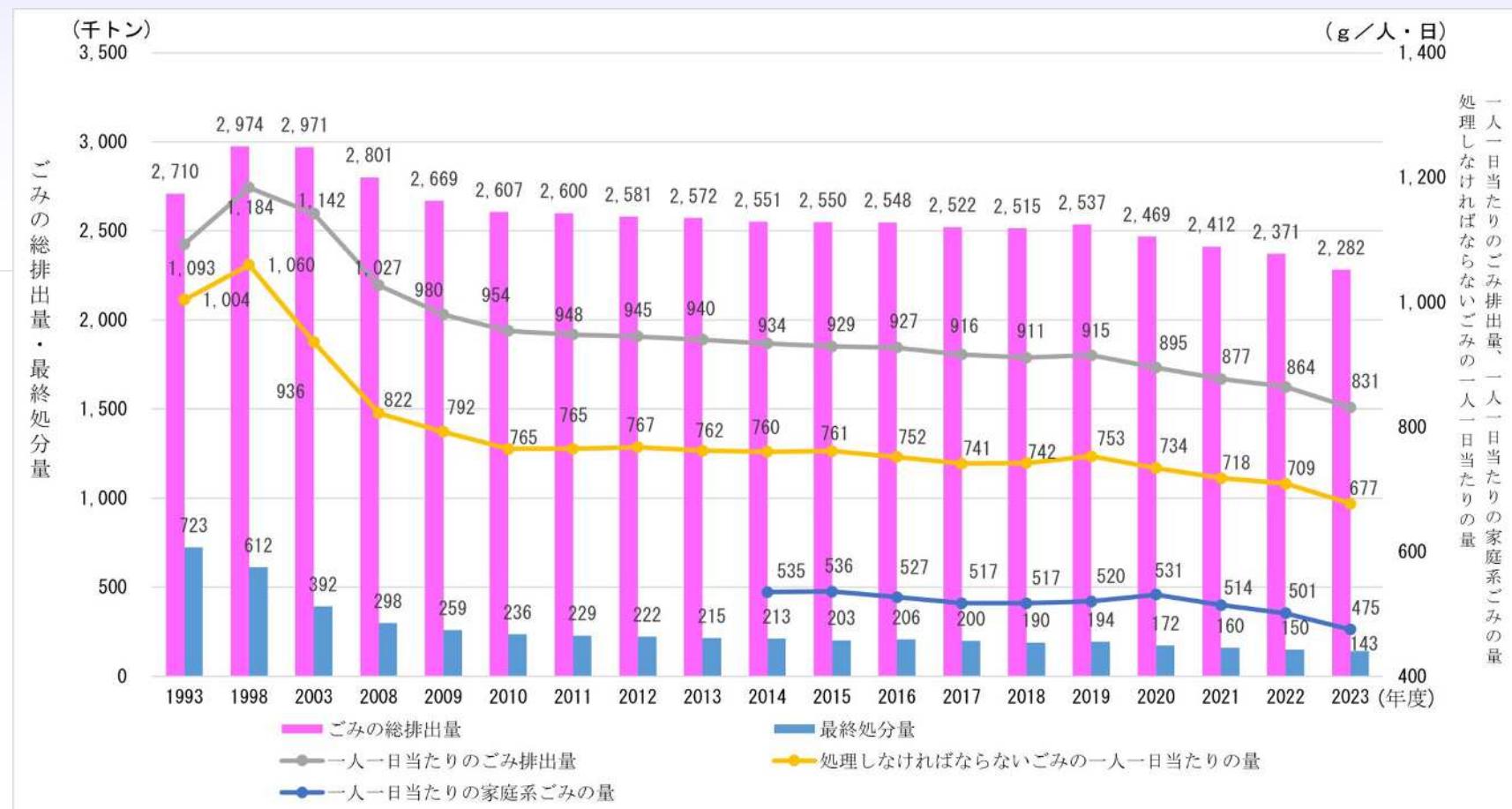
- ◆ 外来生物法で、アライグマ、アカミミガメ、オオキンケイギクなど**特定外来生物** を指定



- ◆ 県条例で、ワニガメ、ハクビシンなど25種の**移入種** を公表

# 廃棄物・資源循環

## ごみの総排出量と最終処分量の経年変化

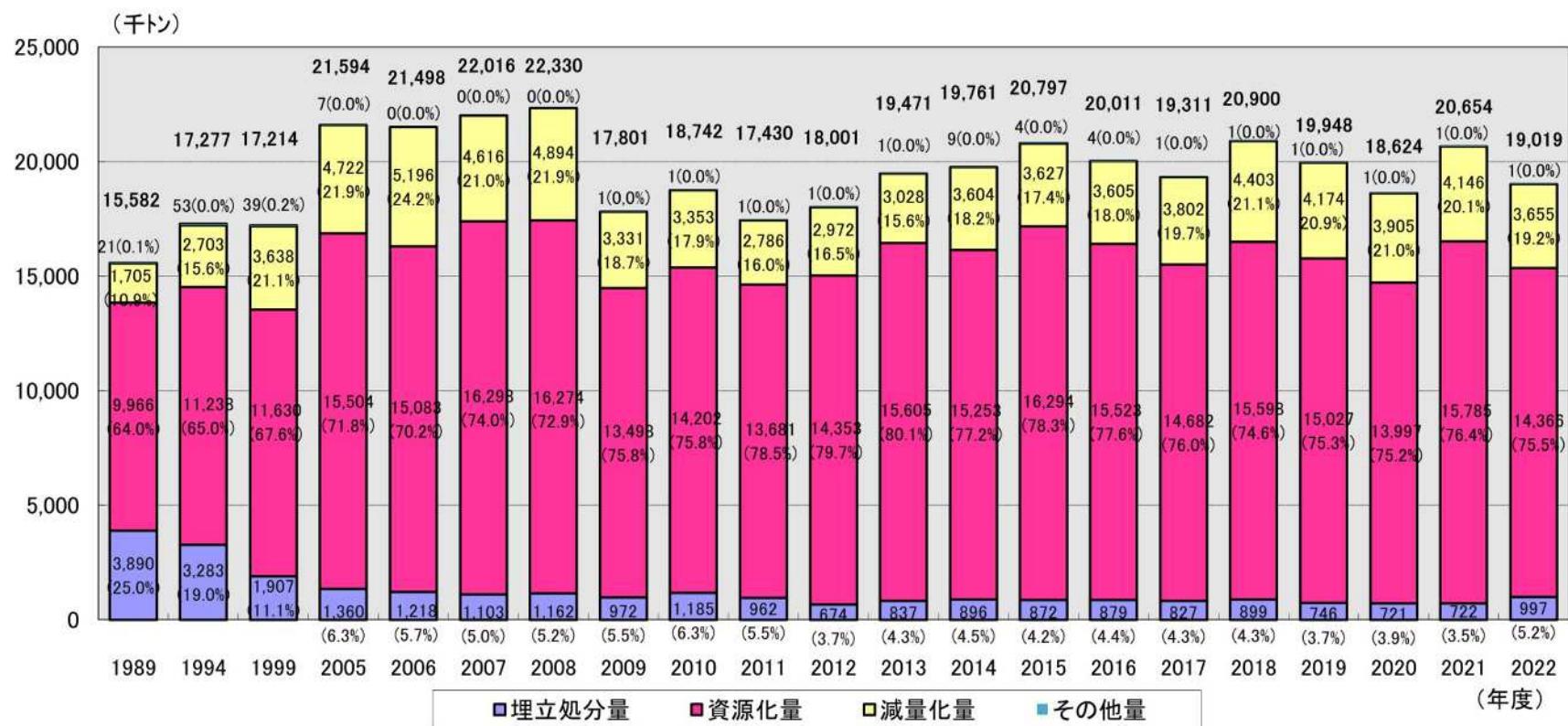


- ごみの総排出量は、1998年をピークに減少傾向。

図8-1-5 産業廃棄物の発生量等の推移

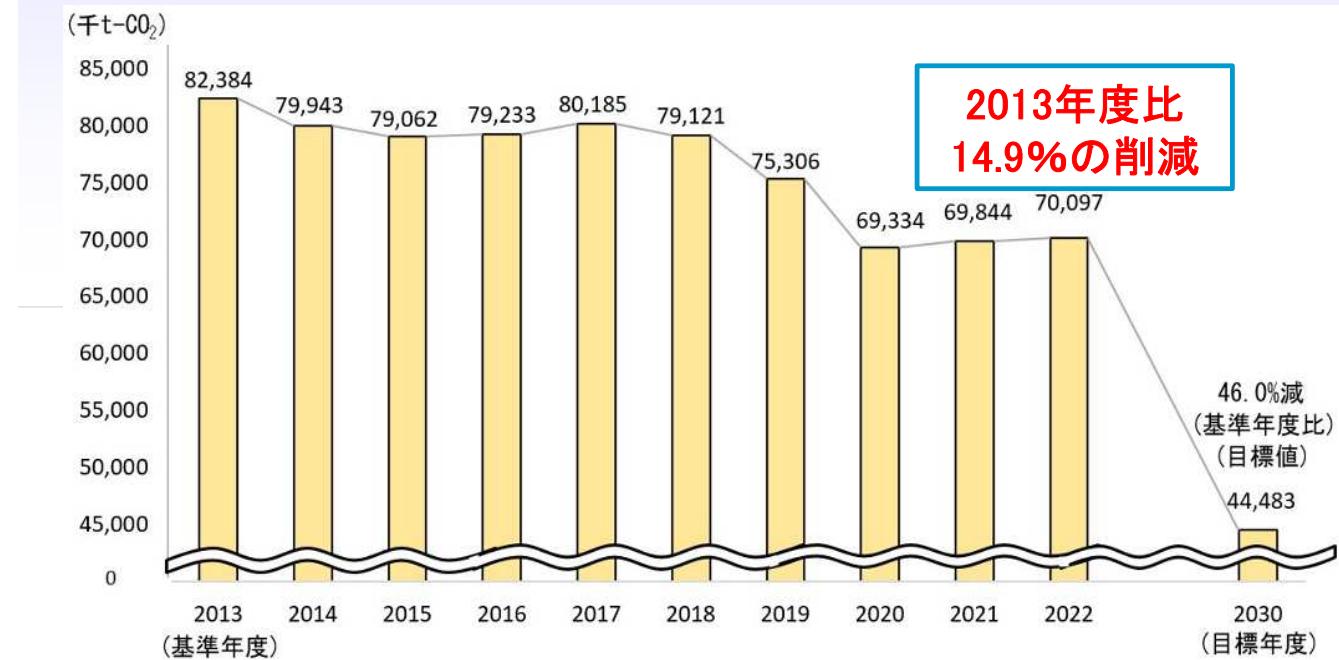
# 廃棄物・資源循環②

## 産業廃棄物発生量等の推移



# 地球温暖化

## 温室効果ガス排出量（愛知県）



部門別CO<sub>2</sub>排出量  
の割合と増減率  
(2013→2022年度)

産業: 51.2%  
(▲15.5%)

業務: 13.7%  
(▲25.0%)

家庭: 10.1%  
(▲22.1%)

運輸: 18.4%  
(▲8.5%)

2022年12月に「あいち地球温暖化防止戦略2030」を改定

「2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す」という長期目標の下、  
新たな目標として、「2030年度の県内の温室効果ガス総排出量を2013年度  
比で46%削減する」を掲げた

# 環境政策 ①

衛生問題

産業公害

都市生活型公害

地球環境問題

## ■ 産業公害 … 「公害」

政策 ① 規制的手法

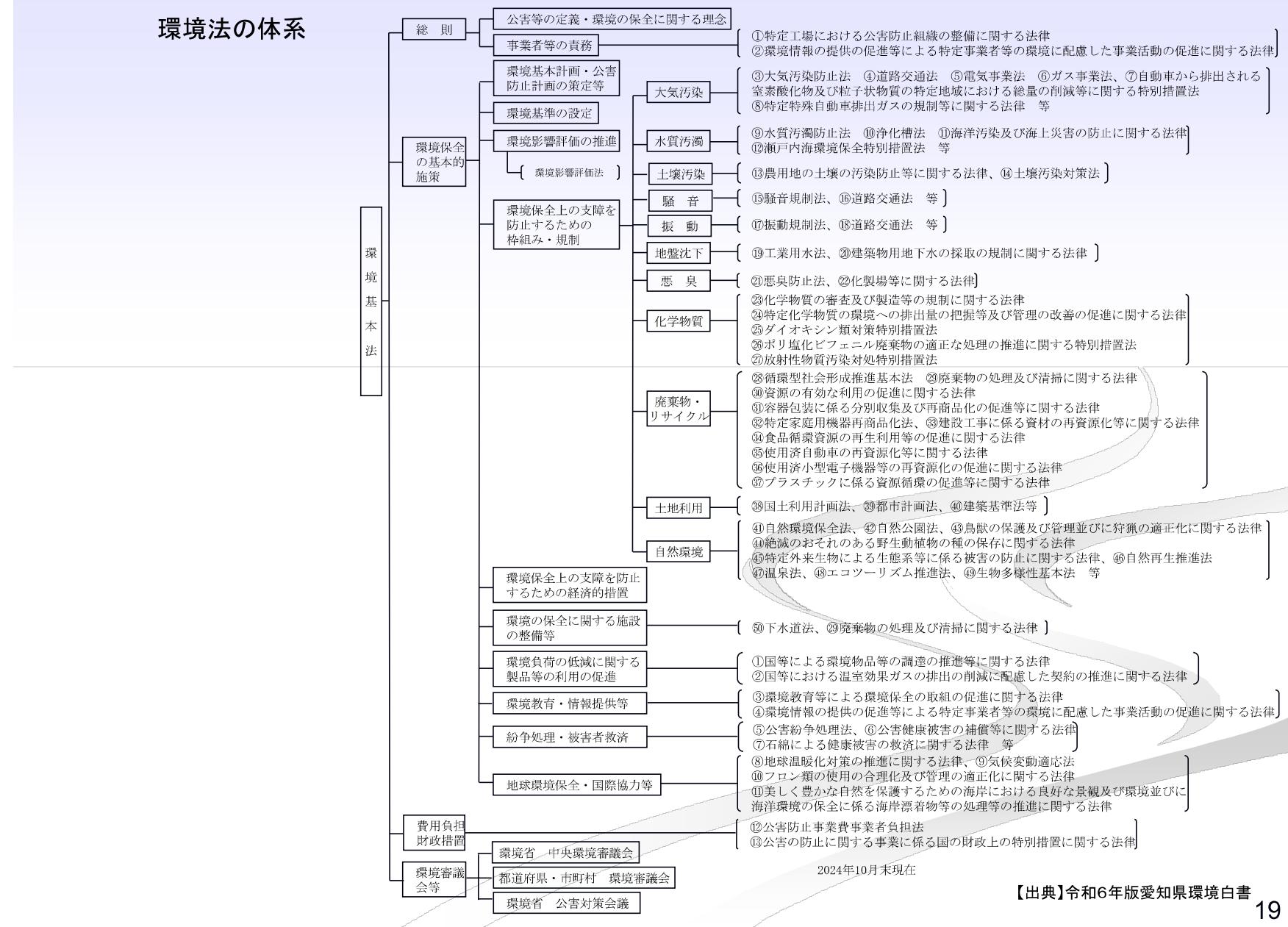
② 被害者救済

国：許可・事前届出、立入検査制度

県：法の執行

条例による上乗せ・横出し規制

## 環境法の体系



# 環境基本法(平成五年法律第九十一号)

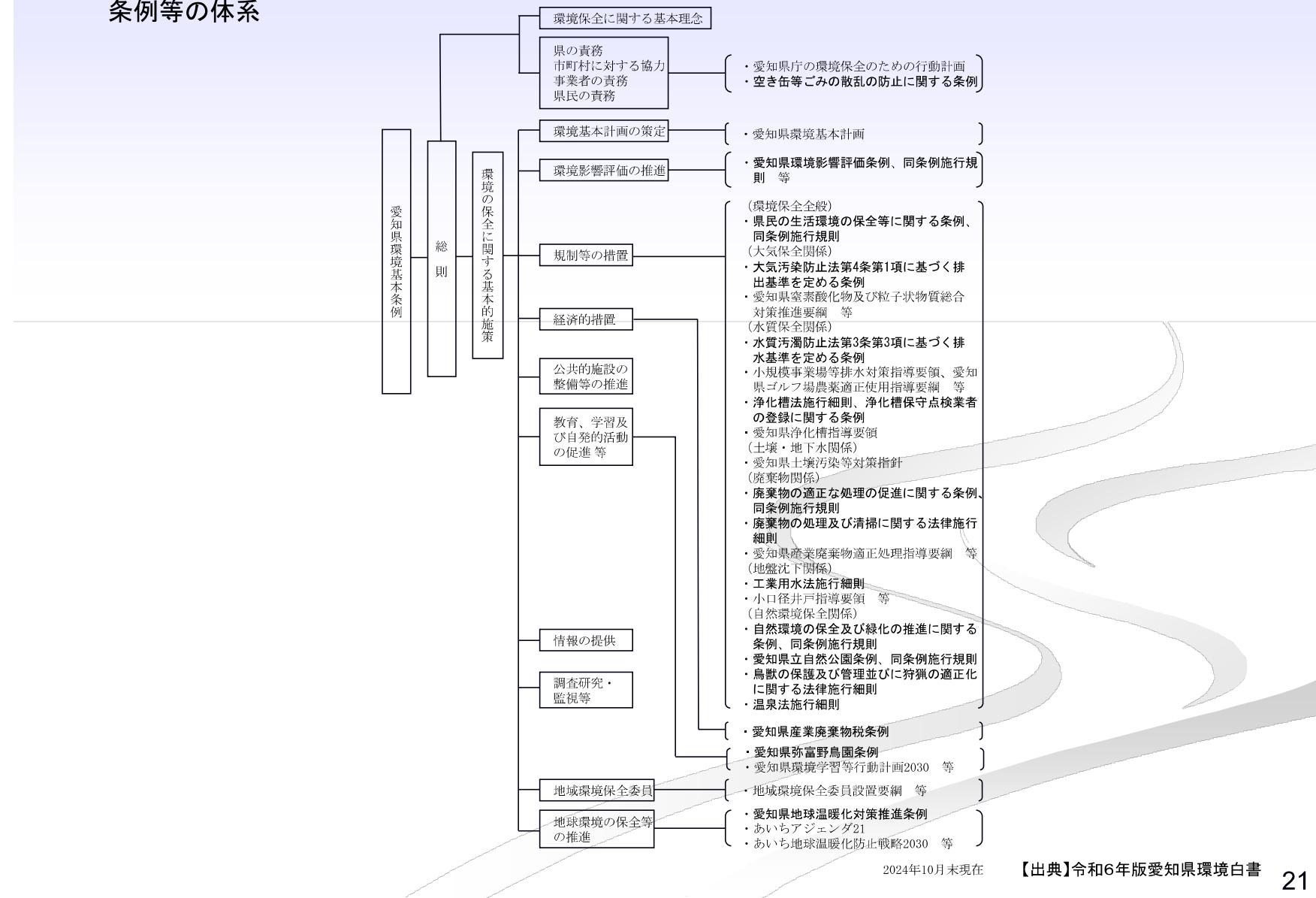
## (目的)

**第一条** この法律は、環境の保全について、基本理念を定め、並びに国、地方公共団体、事業者及び国民の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与するとともに人類の福祉に貢献することを目的とする。

## (環境基準)

**第十六条** 政府は、大気の汚染、水質の汚濁、土壤の汚染及び騒音に係る環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準を定めるものとする。

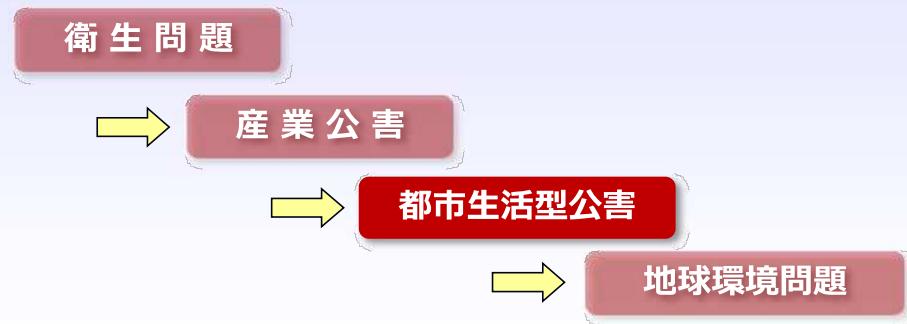
## 愛知県における環境保全関係条例等の体系



2024年10月末現在

【出典】令和6年版愛知県環境白書

## 環境政策 ②



### ■ 都市生活型公害 … 「分散型公害」

**特徴 日常生活の活動も原因**

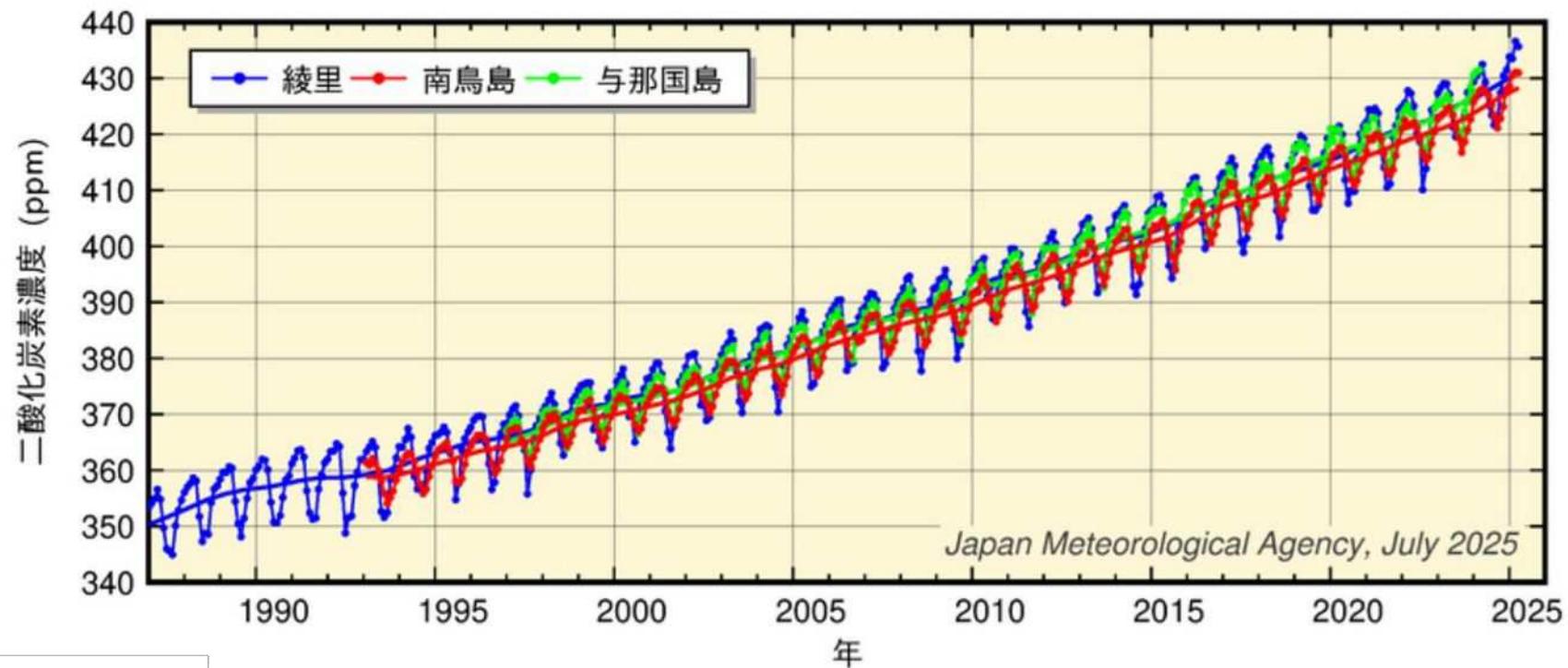
**原因者が同時に被害者**

**規制的手法だけでは対処が困難**

- ① 日常の環境保全意識の促進
- ② 社会経済システムやライフスタイルの見直し

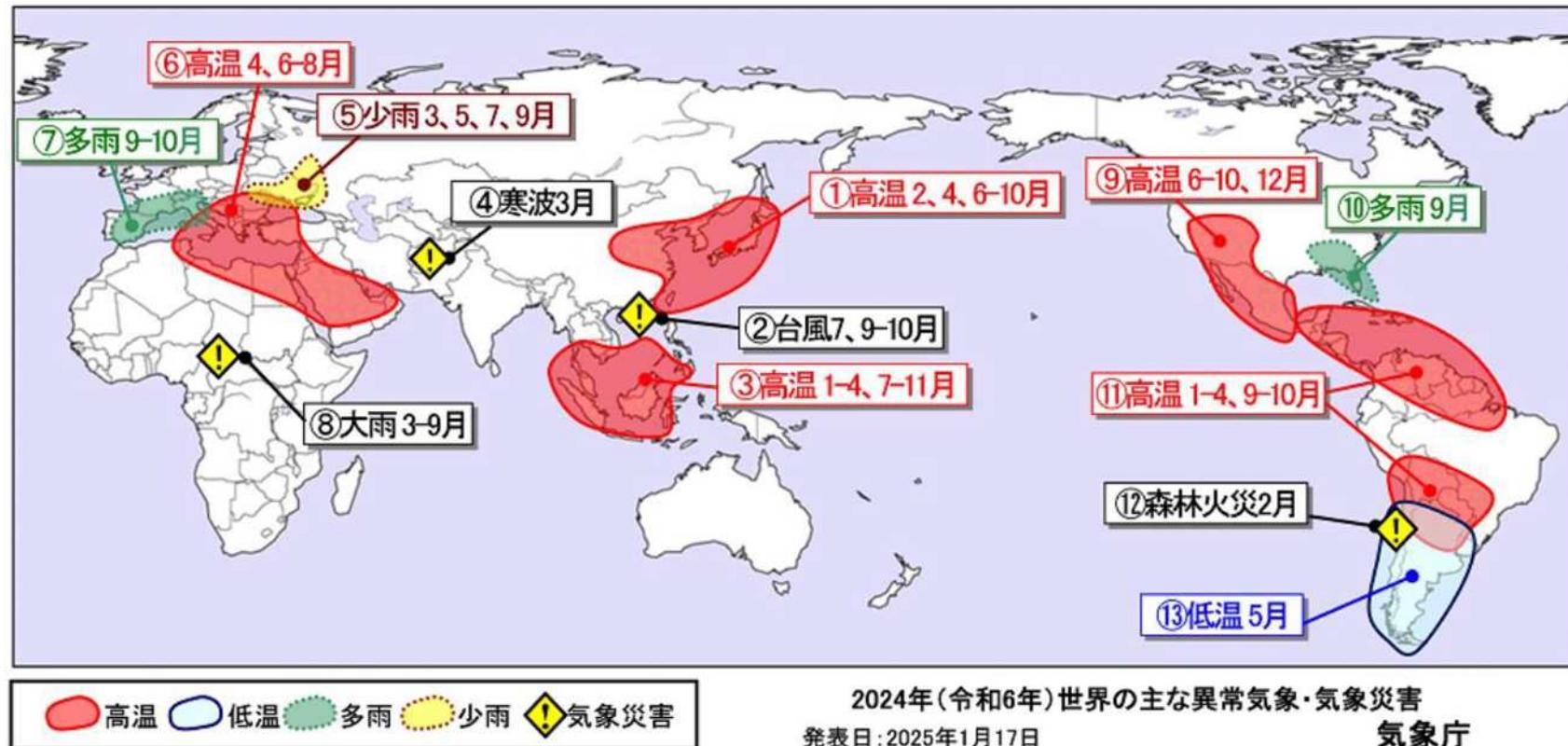
# 大気中のCO<sub>2</sub>濃度（温室効果ガスの増加）

- 産業革命前の約278ppmから、2023年には420ppmまで上昇
- 過去200万年間のどの時点よりも高い



出典: 気候変動監視レポート(気象庁)

# 世界の異常気象



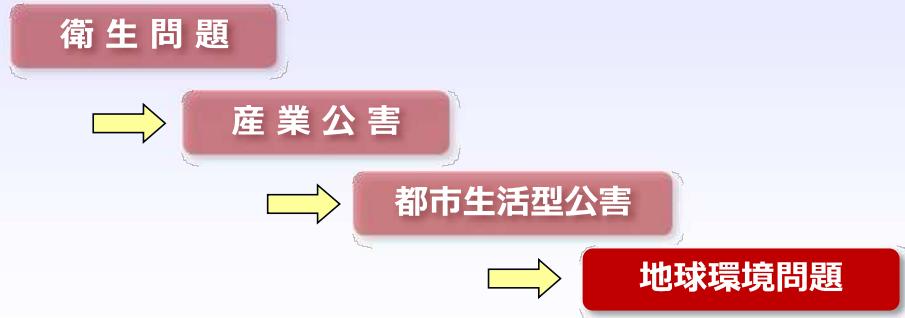
- 2024年は観測史上最も暑い年  
→産業革命前の水準と比べて $1.55^{\circ}\text{C}$ 上昇し、パリ協定の目標 $1.5^{\circ}\text{C}$ を初めて超過
- 名古屋の2024年の平均気温も、観測史上最も高かった(気象庁)

# 海岸漂着物



海岸に打ち上げられたごみ 2018年10月2日 佐久島(西尾市)

# 環境政策 ③



## ■ 地球環境問題...「環境負荷」

総合的・長期的な計画

+  $\alpha$  の政策

- ① 経済的手法
- ② 情報的手法
- ③ 自主的取組促進手法

# 2005年日本国際博覧会(愛知万博)の開催

世界規模に広がった環境問題に取り組む必要が出てきた中、世界初の環境万博を始め、3つの国際イベントが本県で開催され、環境への高い意識が根付いてきた。



会場風景



グローバル・ループ



廃棄物の3R



自然体感プログラム

# 生物多様性条約第10回締約国会議の開催

2010年に180カ国、国際機関、NGO等の参加により、生物多様性保全の目標「愛知目標」などが採択され、県にとって生物多様性への取組を推進していく大きなきっかけとなった。



締約国会議



生物多様性国際自治体会議



生物多様性国際ユース会議



子どもCOP10あいち・なごや